



SEIKO

株式会社 服部時計店

本社 〒104 東京都中央区京橋2丁目6番21号 ☎03(563)2111

A029(DHT)

G65-83

保

A029(DHT) 永久保存

取扱説明書

このたびはセイコーデ
ジタルA029をお買いあ
げいただきありがとうございます
ございました。

ご使用前にこの取扱
説明書をよくお読みの
うえ正しくご愛用くだ
さいますようお願い申
しあげます。

なお、この取扱説明書
は、お手元に保存し、
必要に応じてご覧くだ
さい。

■ セイコーデジタルA029(マルチアラーム)とは	1
■ モードの切換え	5
■ 時刻とカレンダーの合わせ方	6
■ 時報、「日」と「秒」の表示切換え	11
■ TIMERの使い方	12
■ ALARMとAUTOの時刻セットの方法	17
■ セット時刻の確認	20
■ セット時刻を解除する方法	21
■ 鳴り出した音を止めるとき	22
■ サウンドデモンストレーション	23
■ ライト点灯	23
■ ボリューム(音量)切換え	24
■ お取扱いにあたって	25
■ 電池交換について	28
■ 液晶パネルの交換	29
■ 長くご愛用いただくために	29
■ 金属バンドのお手入れについて	30
■ 製品仕様	31
■ 保証について	32

■セイコーデジタルA029(マルチアラーム)とは

①特長

この時計は基本時計のほかに、用途に応じて3通りのアラームの使い方ができます。また毎正時には(60分ごと)ピッと時報が鳴ります。
時刻表示は24時間制です。

(1)TIMER(タイマー)

あらかじめセットした時間が経過するとアラームが鳴ります。
(この場合、鳴るまでの残り時間を秒単位で表示します。)

(2)ALARM(アラーム)

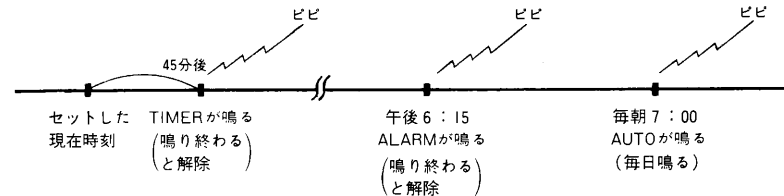
あらかじめセットした時刻になるとアラームが鳴ります。
アラームが鳴った後はセット時刻は自動的に解除されます。

(3)AUTO(オート)

アラーム時刻をセットすると毎日そのセットした時刻にアラームが鳴ります。

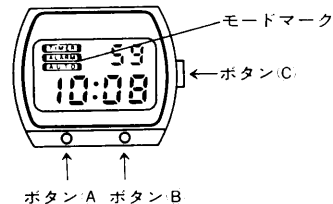
しかも各々、完全独立に作動していますので、3種類を必要に応じていっしょに使うことができます。

たとえばTIMERを0:45、ALARMを18:15、AUTOを7:00というようにセットすれば、今から45分後と、午後6時15分と、毎朝7時に鳴ります。



※表示がどのモードであっても各々セット時刻になると鳴り出します。

② ボタンの操作及び機能について



ボタンA **押す**

時刻表示のとき→ライトが点灯します。

アラームが鳴っているとき→アラームが止まります。

時刻修正状態で→時刻をセットします。

ボタンB **押す**

時刻表示のとき→秒と日付の表示を切替えます。

時刻修正状態で→修正したい箇所をセレクト(選択)します。

ボタンC **押すと**

押すごとにモードが切替わります。

引き出すと

時刻修正状態又は、時刻設定状態になります。

ボタンA/B

(A)B両ボタンを一緒に押すと、アラームが鳴ります。

アラーム時刻をセットしないで、アラーム音を聞くことができます。

③ モード別表示内容

各モード毎に、表示される時刻機能が異なります。

(1)時刻モード……………時・分・秒/日付

(2)TIMERモード……………時・分・秒

(3)ALARMモード……………時・分
AUTOモード

※基本時計を含め、各アラームの系列をそれぞれ「時刻モード」「TIMERモード」「ALARMモード」「AUTOモード」と呼び、以下この呼び方を使って、説明いたします。

■モードの切換え

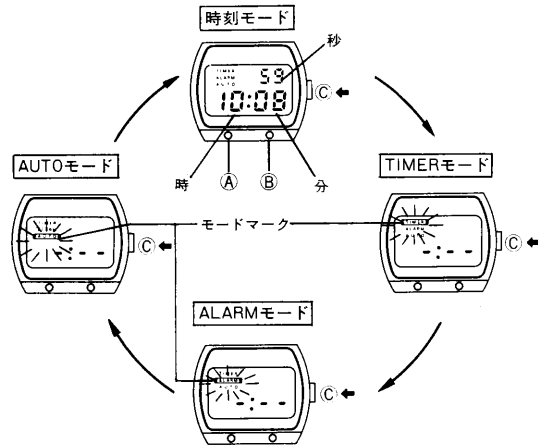
この時計には、4つのモード（機能系列）があり、通常の時計としての使い方の他に3通りのアラームの使い方ができます。

4つのモードは、ボタンCを押すごとに順々に切替わります。

アラーム時刻をセットしたり解除するときや、各モードのセット時刻の確認をするときに使います。

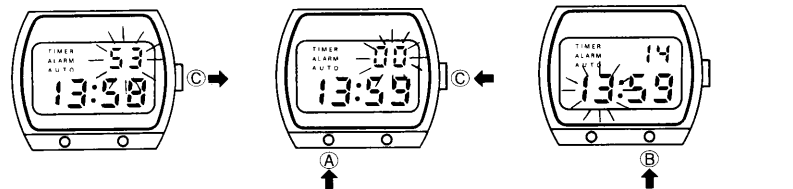
※時刻モードのときには、3つのアラームのうち、時刻セットされているモードの文字に四角いマーク **TIMER** があらわれます。

※ボタンCを押すとモードが切替わり、表示しているモードのマークが点滅します。



■時刻とカレンダーの合わせ方

- 時刻合わせには電話の時報サービスTEL. 117が便利です。
- 時刻・カレンダーを合わせる場合には、まず時計を時刻モードにします。



- ①ボタンCを引き出す → ②時報と同時にボタンAを押すと00秒からスタートします。
- ③ボタンBを押すと「時」が点滅します。

※日表示の場合でも秒表示が点滅を始めます。

※秒表示が30～59秒の時にボタンAを押すと分が1分くりあがって0秒に合います。「秒」合わせだけの時は、この後ボタンCを押します。

「10分台」のセット



Ⓐ
↑

④ ボタンⒶを押すごとに「時」がすすみます。



Ⓑ
↑

→⑤ ボタンⒷを押すと「10分台」が点滅します。



Ⓐ
↑

→⑥ ボタンⒶを押すごとに「10分台」がすすみます。

「1分台」のセット



Ⓑ
↑

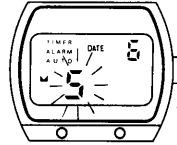
⑦ ボタンⒷを押すと「1分台」が点滅します。




Ⓐ
↑

→⑧ ボタンⒶを押すごとに「1分台」がすすみます。

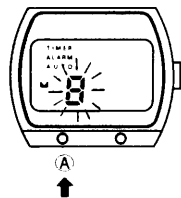
「月」のセット



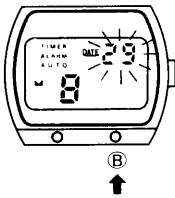
Ⓑ
↑

→⑨ ボタンⒷを押すと「月」が点滅します。このとき DATE マークと  マークが表示されます。

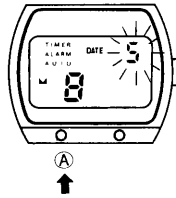
「日」のセット



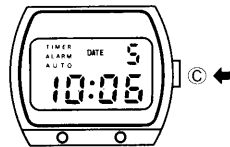
⑩ ボタンAを押すごとに「月」がすすみます。



→ ⑪ ボタンBを押すと「日」が点滅します。

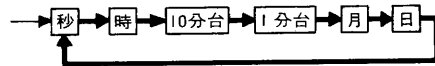


→ ⑫ ボタンAを押すごとに「日」がすすみます。

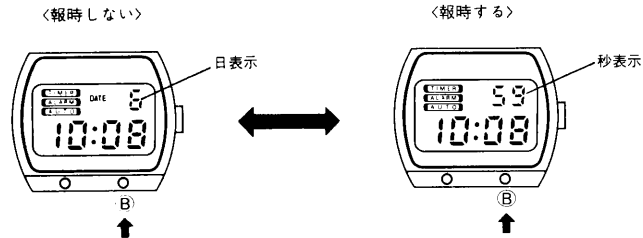


⑬ 時刻とカレンダーが合いましたらボタンCを軽く押し込んでください。
これで時刻とカレンダーのセットは完了です。

※ ボタンBを押すごとに➡の順序で、修正箇所(点滅)が変わります。
各々、単独に修正できますので、必要な箇所をよび出して修正してください。



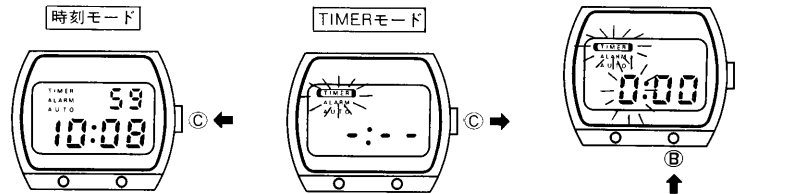
■時報、「日」と「秒」の表示切換え



- 時刻モードが「秒」表示のときには毎正時(分・秒が00表示のとき)に“ピッ”と時報が鳴ります。ただし、「日」表示で使用している時には時報は鳴りません。
- ボタンBを押すと、時刻モードの「日」と「秒」の切換えができます。
- ※時報は時刻モード以外を表示して使っているときにも鳴ります。

■TIMERの使い方

- ①タイマーセットの方法 (例…1時間35分をセットします。)



- ①時刻モードのときボタンCを1回押すとタイマーモードに変わり、タイマーモードマークが点滅します。
- ②ボタンCを引き出すとタイマーの時刻がセットできる状態になります。
- ③ボタンBを押すと、「時」と「分」が表示され、「時」が点滅します。

※上図の:-:-は解除の表示です。タイマーモードには何もセットされていないことを示します。あらかじめセットされているときにはその時刻が表示されます。



④
↑

④ ボタンAを押すと「時」が進みます。



⑤
↑

⑤ ボタンBを押すと「10分台」が点滅します。

※ボタンBを押すことに
→時→10分台→1分台

の順に点滅する個所が変わります。点滅している個所が修正可能です。



⑥
↑

⑥ ボタンAを押すと「10分台」が進みます。



⑦
↑

⑦ ボタンBを押すと「1分台」が点滅します。



⑧
↑

⑧ ボタンAを押すと「1分台」が進みます。



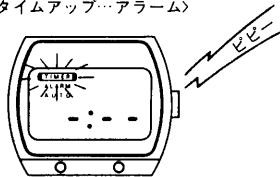
⑨
←

⑨ ボタンCを軽く押し込むと同時にタイマーがスタートし残り時間を秒単位で表示します。

※ボタンCを強く押しすぎると次のモードに切り替わります。

1 時間35分後

〈タイムアップ…アラーム〉



10時間になるとタイムアップを知らせるアラームが鳴り出します。

※鳴り出すと同時に時間表示が、-:-に変わり10秒間鳴った後、アラームは自動的に止まります。

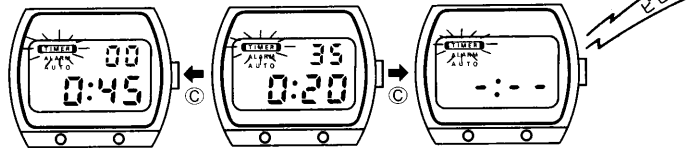
※動き始めたタイマーを途中で一時停止させたい時にはボタンCを引き出して下さい。引いている間だけタイマーが停止し、ボタンCを押し込むと再びタイマーが動き出します。

②ロスタイムをのぞいた使い方ができます。(例…サッカーの残時間計測)

〈スタート〉

〈ストップ〉

〈タイムアップ…アラーム〉



①あらかじめゲージ→②ボタンCを引き→③時間になるとタイムアップを知らせるアラームが鳴り出します。

①あらかじめゲージ→②ボタンCを引き出すとカウント停止
③時間になるとタイムアップを知らせるアラームが鳴り出します。

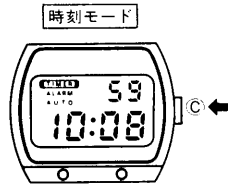
※ボタンCを強く押しすぎると次のモードに切り替わります。

※再びボタンCを押すとカウント再開します。何度でもくり返して止められます。

※ストップの状態では、ボタンAにふれないようにしてください。誤って押すと解除されます。

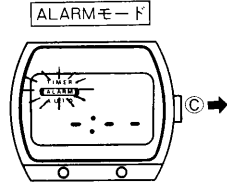
■ALARMとAUTOの時刻セットの方法

(両モードとも時刻セットの方法は同じです。)



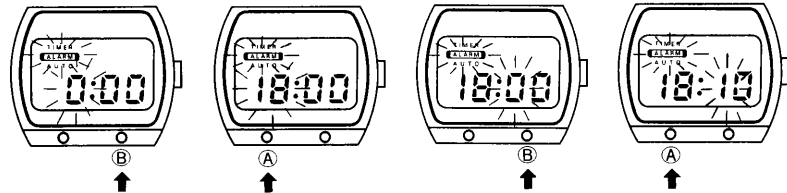
①時刻モードの時ボタンCを2回押すとALARMモードに変わり、ALARMモードマークが点滅します。

※3回押すとAUTOモードに変わりAUTOモードマークが点滅します。
以下ALARMモードの場合について説明します。



→②ボタンCを引出しALARMセット状態にします。

※上図の---は解除の表示です。
ALARMモードには、なにもセットされていないことを示します。あらかじめセットされている時には、その時刻が表示されます。

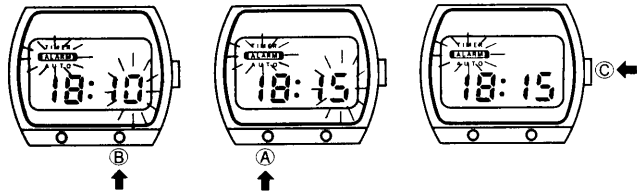


③ボタンBを押す→④ボタンAを押すと「時」と「分」が表示され「時」が進みます。
⑤ボタンBを押すと「10分台」が点滅します。
⑥ボタンAを押すと「10分台」が進みます。

※ボタンBを押すごとに
「時→10分台→1分台」

の順に点滅する個所が変わります。点滅している個所が修正可能です。

■セット時刻の確認

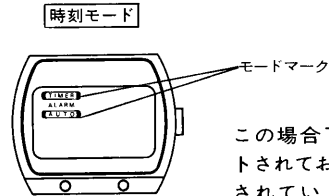


- ⑦ ボタン③を押す→⑧ ボタン④を押す→⑨ ボタン⑤をもどすと時刻セットが完了
 と「1分台」が点 減します。 と「1分台」が進みます。

これで夕方6時15分00秒にアラームが鳴ります。ただし ALARM モードでは10秒間鳴りおわるとセットした時刻は自動的に解除されますが、AUTOモードでは、毎日その時刻にアラームが鳴ります。

- 時刻モードのときには、他の各モードの時刻がセットされているかどうかをモードマークでお知らせします。モードマークが表示されているモードは時刻セットされており、表示されていないモードは時刻セットされていません。

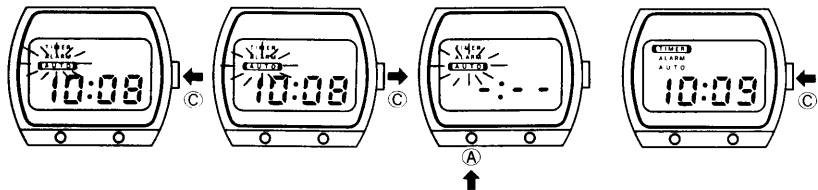
(例)



この場合TIMERとAUTOがセットされており、ALARMはセットされていません。

■セット時刻を解除する方法

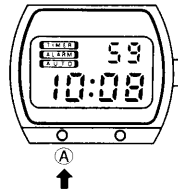
- あらかじめセットされた時刻を解除したい時に使います。
- この方法はTIMER、ALARM、AUTOとも共通です。



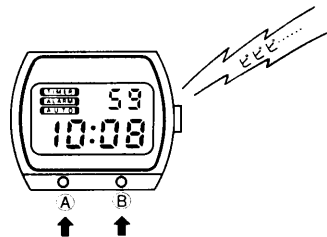
- ① ボタンCを押し→② ボタンCを引き→③ ボタンAを押す→④ ボタンCをもとで解除したいモードを呼び出します。
 - ③ ボタンAを押すとセット時刻が消え時刻表示が解除 -:-- になります。
- ※この後時刻モードにすると解除されたモードのマークが消えています。

■鳴り出した音を止めるとき

- 各モードともセットした時刻になると10秒間鳴り、自動的に止まります。鳴っているモードのマークだけが点滅します。
- 鳴り終る前に止めたい時にはボタンAを押してください。(どのモードでも止まります。)



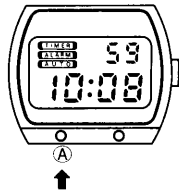
■ サウンドデモンストレーション



ボタンA(B)を同時に押すといつでもアラーム音を確認できます。

※どのモードのときでも、押している間、鳴ります。

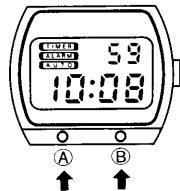
■ ライト点灯



ボタンAを押します。

■ ボリューム(音量)切換え

アラームの音量は、大小2種類あり、必要に応じて使いわけてください。



ボタンA(B)と一緒に2回押す

ボタンA(B)と一緒に2秒以内に2回押すと音量は小さい音に変わります。それ以後は再びサウンドデモンストレーションを行なうまですべて静かな音で鳴ります。元の大きい音にするには、ボタンA(B)と一緒に1回押してください。

■ お取り扱いにあたって

×



防水時計ではありませんので、直接水に触れるご使用はお避けください。

×



×



ショック・磁気

○



スポーツによる影響はありません。
ただし落したり、強くぶついたりしないでください。

○



磁気の影響はありません。

■電池交換について

温度

×



直射日光があたったり、高温になる所に置かないでください。

- 1) 電池寿命が短くなるなどの悪影響があります。
- 2) 表示が黒くなることありますが常温にもどれば影響は残りません。

27

×



寒い所に長く置かないでください。

- 1) 多少の進み遅れが生ずることがあります。
腕につければ、もとの精度にもとります。
- 2) 数字の変わり方が遅くなることがあります。
(精度には関係ありません)



電池は約1年の寿命があります。

※最初の電池は工場出荷時より組み込まれていますので、1年に満たないうち寿命がきれることがあります。



表示全体が点滅したら1週間以内に電池をかえましょう。

※表示が点滅をはじめても時刻は正確です。

28



電池交換は必ずお買上げ店又は、セイコー取扱店でおこなってください。

※上記の店以外で電池を交換した場合は、以後の保証は適用されませんのでご注意ください。

■液晶パネルの交換

この時計の液晶パネルは5年をすぎますと、コントラストが低下したり数字が読みにくくなることがあります。

お買上げ店、または**SEIKO**取扱い店に交換をお申しつけください。

実費にて申し受けます。

■長くご愛用いただくために

1 2年に1回



定期的な点検をおすすめします。

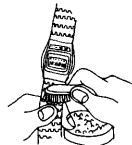
又、左記のような部品は定期的に交換してください。
部品交換のときは「セイコー純正部品」とご指定ください。

■金属バンドのお手入れについて



金属バンドも汗やホコリでよごれます。

汗をかいた時は吸湿性の良い布等で水分を取り除いてください。



石けん水

時々、柔らかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。
※その際時計本体には水がかからないようご注意ください。

■製品仕様

1. 水晶振動数.....32,768Hz(Hz=1秒間の振動数)
2. 携帯精度.....常温において、月差±10秒以内
3. 表示方式.....**時刻モード**:時(24時間制)、分、秒/日(日、秒切りかえ方式)
月(修正時のみ)、3種のモードマーク
日表示の時DATEマーク
TIMERモード:時(24時間制)、分、秒、モードマーク
ALARMモード:時(24時間制)、分、モードマーク
AUTOモード:時(24時間制)、分、モードマーク
4. 表示体.....FE(電界効果)型ネマチック液晶
5. 使用電池.....小型銀電池SB-BU 1個
電池寿命約1年(但しライトの使用を1回1秒、1日5回とした場合)
6. 電池寿命切れ予告機能付...電池の寿命が近づくと表示文字全体が点滅
7. 電子回路.....C-MOS-LSI 1個
8. 内部照明ライト付

*仕様は、改良のため予告なく、変更することがあります。

■保証について

保証期間内に、正常なご使用状態で、万一故障した場合には、保証書をそえて、お買上げ店またはセイコー取扱店にお持ちください。

保証内容は保証書に記載したとおりです。

この時計の修理用部品の保存期間は通常7年を基準としています。正常なご使用であればこの期間中は原則として修理は可能です。

*修理用部品とは、製品の機能を維持するのに不可欠な時計本体の部品です。

修理の可能な期間は、ご使用条件によりいちじるしく異なりますし、精度も元通りにならない場合がありますので修理ご依頼の際に取扱店とよくご相談ください。

修理のとき、ケース・見切板・ガラス・バンドなどは、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

その他ご不明の点がありましたら、“セイコーお客様サービス係”へお問い合わせください。

■ A029 (MULTI-ALARM)

(1) FEATURES

In addition to the time and calendar function, the SEIKO Digital Quartz Multi-Alarm has three functions.

● Timer function, Alarm function and Automatic alarm function.

The alarm sounds every hour on the hour (at the intervals of 60 minutes), and the watch is adopting the 24-hour digital display system.

(1) TIMER

Once the desired amount of time is set and when it is elapsed, the alarm starts sounding.

(The time to be elapsed is displayed down to seconds.)

(2) ALARM

Once the alarm time is set, the alarm sounds at the desired time.

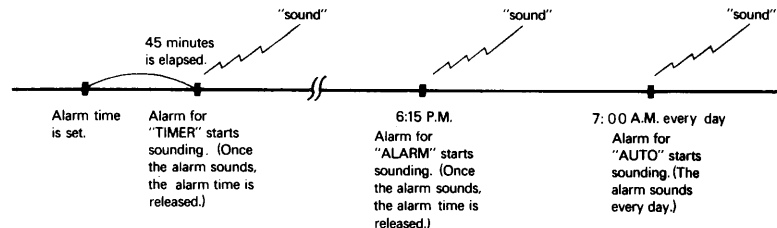
Once the alarm sounds, the alarm time is released automatically.

(3) AUTO

Once the alarm time is set, the alarm sounds at the desired time every day.

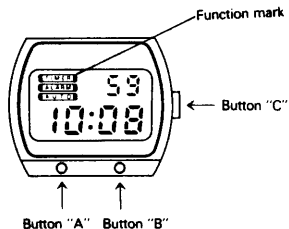
As each function is operated independently, the three functions can be used as required.

If the "TIMER" is set at 0:45, the "ALARM" 18:15 and "AUTO" 7:00 respectively for instance, the alarm starts sounding at 45 minutes later, at 6:15 P.M. and at 7:00 A.M. every day.



※ Whichever function, the "TIMER", the "ALARM" or the "AUTO" function, the watch may be operating, the alarm starts sounding at each set time.

(2) BUTTON OPERATION AND FUNCTION



When button "A" is depressed

- If button "C" is in the normal position → The light is lit.
- If the alarm is sounding → The alarm stops sounding.
- If the time digits are ready to be adjusted → The time digits are advanced and set.

When button "B" is depressed

- If the watch operates the time function → The second digits and the date digits are changed over into each other.
- If the time digits are ready to be adjusted → The digits to be adjusted are selected.

When button "C" is pushed

- The watch function is changed over by each push of button "C"

When button "C" is pulled out

- The time digits are ready to be adjusted and set.

Buttons "A" and "B"

- Depress buttons "A" and "B" at the same time, and the alarm starts sounding. Thus the alarm sound can be checked without setting the alarm time.

(3) DIGITAL DISPLAYS BY FUNCTIONS

The digital displays vary from function to function.

(1) TIME function Hour, minute, second/date

(2) TIMER function Hour, minute, second

(3) ALARM and AUTO functions Hour, minute

FUNCTION CHANGEOVER

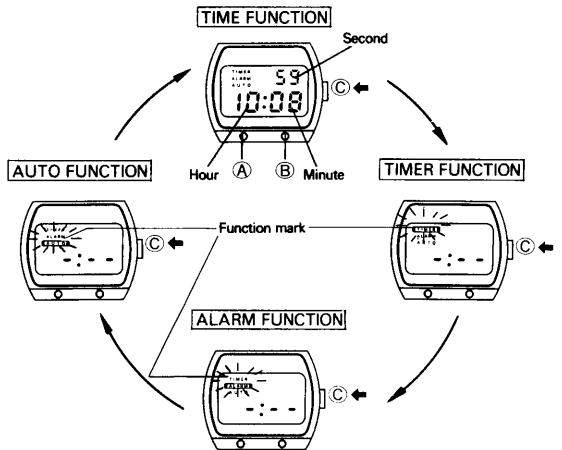
This watch operates four different functions. In addition to the usual watch function, three other functions are available.

1. TIME function
2. TIMER function
3. ALARM function
4. AUTO function

Each push of button "C" will cause to change over the function in the following order. It is used to check the set time in each function and to set the alarm time or release it.

※ When the desired time is set for one of the three alarms in the time function, it is framed by a square.

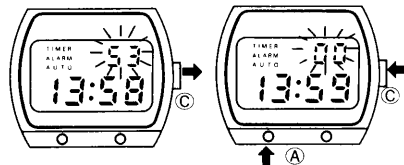
※ Depress button "C" to change over the function and the square frame on the operating function starts flashing.



HOW TO SET THE TIME AND CALENDAR

- The telephone time service (TEL: 117) might be helpful in setting the correct time.
- Change over to the "TIME" function when setting the time and calendar.

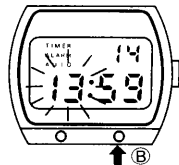
Second setting



- 1 Pull out button "C" and the second digits start flashing.
- 2 Depress button "A" in accordance with "00" second of a time signal, and the seconds are then reset to "00" and start immediately.

※ Even if the date digit is displayed, it is automatically changed into the second digit when button "C" is pulled out.

Hour setting

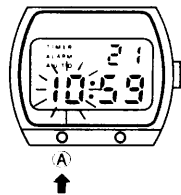


- 3 Depress button "B" and the hour digits start flashing.

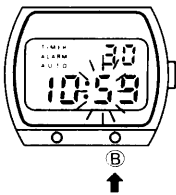
※ When the seconds count any numbers from "00" to "29", the seconds are reset to "00" automatically whenever button "A" is depressed. When the seconds count any numbers from "30" to "59" and button "A" is depressed, one minute is added and the seconds immediately return to "00".

※ Push button "C" after depressing button "A" when only second digits are required to be adjusted.

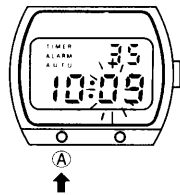
10-minute setting



4 One digit (hour) is advanced by each depression of button "A"

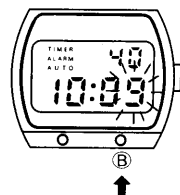


5 Depress button "B" and the 10-minute digit starts flashing.

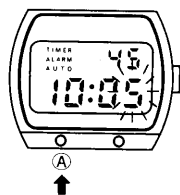


6 One digit (10 minutes) of the 10-minute digit is advanced by each depression of button "A".

1-minute setting

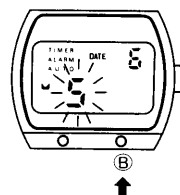


7 Depress button "B" and the 1-minute digit starts flashing.



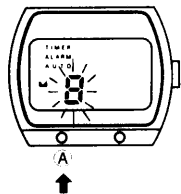
8 One digit (minute) of the 1-minute digits is advanced by each depression of button "A".

Month setting

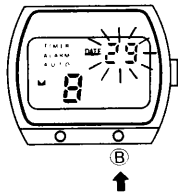


9 Depress button "B" and the month digit starts flashing. (The "DATE" and the "▲" marks also are displayed by depressing button "B".)

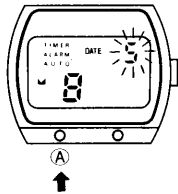
Date setting



10 One digit (month) is advanced by each depression of button "A".



11 Depress button "B" and the date digits start flashing.

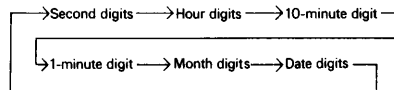


12 One digit (date) is advanced by each depression of button "A".



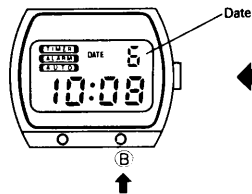
13 After all the adjustments are completed, push button "C" lightly in to the normal position.

* Each depression of button "B" will select the digits (flashing) to be adjusted in the following order. Each digit can be adjusted independently. Select the required digits and adjust them.

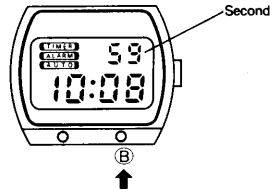


■ TIME SIGNAL, CHANGEOVER TO AND FROM THE DATE AND SECOND DIGITS

(The time signal does not sound.)



(The time signal sounds.)



- The time signal sounds every hour on the hour (when the minute and second digits indicate "00".) when the second digits are displayed in the time function, but when the date digits are displayed, it does not sound.
- Depress button B to changeover to and from date and second.
- ※ The time signal sounds every hour on the hour in the other functions.

■ HOW TO USE THE "TIMER" FUNCTION

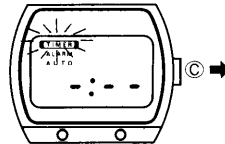
(1) How to set the time

TIME FUNCTION



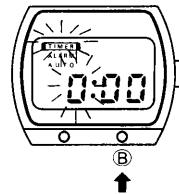
- ① Push button "C" once to change over to the "TIMER" function and the "TIMER" function square frame starts flashing.

TIMER FUNCTION

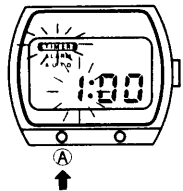


- ② Pull out button "C" and the time digits for the "TIMER" function are ready to be set.

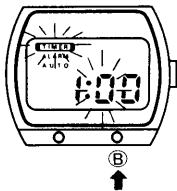
※ The "---:--" mark shown in the above illustration indicates the alarm time is released and that no alarm time is set for the "TIMER" function. If the alarm time has been set for the "TIMER" function already, the alarm time is displayed.



- ③ Depress button "B" to display the hour digits and the minute digits and the hour digits start flashing.

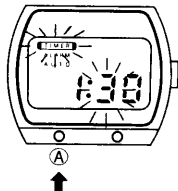
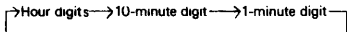


④ One digit (hour) is advanced by each depression of button "A".

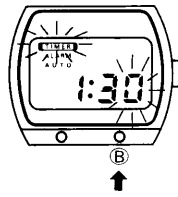


→ ⑤ Depress button "B" and the 10-minute digit starts flashing.

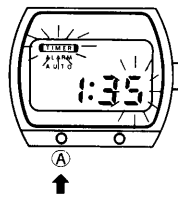
※ Each depression of button "B" will select the digits (flashing) to be adjusted in the following order.



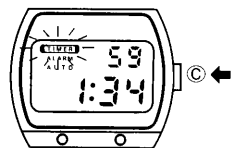
→ ⑥ One digit (10 minutes) of the 10-minute digit is advanced by each depression of button "A".



⑦ Depress button "B" and the 1-minute digit starts flashing.



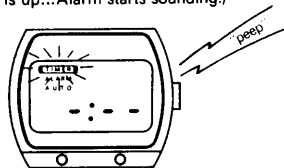
→ ⑧ One digit (minute) of the 1-minute digit is advanced by each depression of button "A".



→ ⑨ Push button "C" lightly to operate the "TIMER" function and the time to be elapsed is displayed down to seconds.

※ Be careful not to push button "C" excessively as an excessive push of button "C" causes the "TIMER" function to be changed into the "ALARM" function.

1 hour and 35 minutes are elapsed.
(Time is up...Alarm starts sounding.)



10 When all time is elapsed, the alarm starts sounding to indicate that the time is up.

* At the same time the alarm starts sounding, the "-:--" mark is displayed and the alarm stops automatically after 10 seconds.

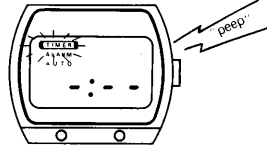
* Backward counting of the time to be elapsed is stopped when button "C" is pulled out and it is restarted when button "C" is pushed in to the normal position.

(2) The desired amount of time to be elapsed is counted excluding the loss time.
(When the time for a soccer game is counted.)

(Start)

(Stop)

(Time is up... Alarm starts sounding.)



1 Set the game time in the "TIMER" function and push button "C" when the game is started. Now backward counting of the game time is started.

2 Pull out button "C" and the backward counting of the game time is stopped.

* Backward counting of the game time is restarted when button "C" is pushed in to the normal position. The counting can be stopped repeatedly as required.

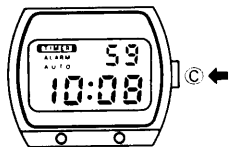
3 When all game time is elapsed, the alarm starts sounding to indicate that the game time is up.

* Be careful not to depress button "A" while the backward counting of the game time is stopped. The set time is released if button "A" is depressed.

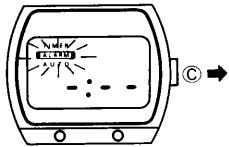
HOW TO USE THE "ALARM" AND "AUTO" FUNCTIONS

(The procedures for setting the alarm time in both functions are the same.)

TIME FUNCTION



ALARM FUNCTION



1 Push button "C" twice to change over to the "ALARM" function and the "ALARM" function square frame starts flashing.

* Push button "C" three times to change over to the "AUTO" function and the "AUTO" function square frame starts flashing. The "ALARM" function is explained below.

2 Pull out button "C" and the "ALARM" function is ready to be operated.

* The "---" mark shown in the above illustration indicates the alarm time is released and that no alarm time is set for the "ALARM" function. If the alarm time has been set for the "ALARM" function already, the alarm time is displayed.



B



A



B



A



3 Depress button "B" to display the hour and the minute digits and the hour digits start flashing.

4 One digit (hour) is advanced by each depression of button "A".

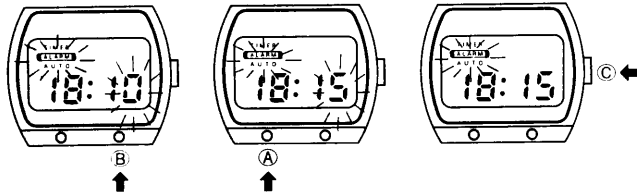
5 Depress button "B" and the 10-minute digit starts flashing.

6 One digit (10 minutes) of the 10-minute digit is advanced by each depression of button "A".

* Each depression of button "B" will select the digits (flashing) to be adjusted in the following order.

→Hour digits→10-minute digit→1-minute digit→

■ CHECK SET TIME



7 Depress button "B" and the 1-minute digit starts flashing.

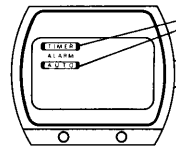
8 One digit (minute) of the 1-minute digit is advanced by each depression of button "A".

9 Push button "C" in to the normal position to complete all adjustments. (Now the alarm is set to start sounding at 6:15:00 P.M. The alarm time is released automatically when the alarm stops after it sounds for 10 seconds in the "ALARM" function. However, the alarm starts sounding at the same time every day in the "AUTO" function.)

- The square frame is displayed on the set function while the watch is operating the "TIME" function. The function with the displayed square frame is set and the function without the displayed square frame is not set.

(Ex.)

TIME FUNCTION

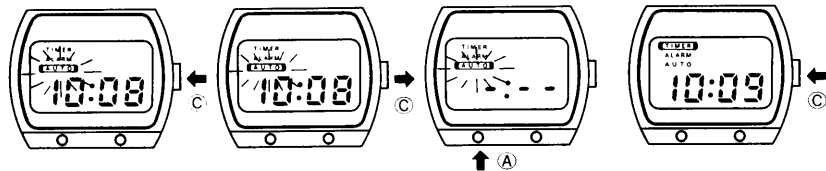


Function mark

The "TIMER" and "AUTO" functions are set, but the "ALARM" function is not set in this case.

■ HOW TO RELEASE THE SET TIME

- This procedure is used to release the set time for the "TIMER", "ALARM" and "AUTO" functions.
- The procedure is the same for the "TIMER", "ALARM" and "AUTO" functions.

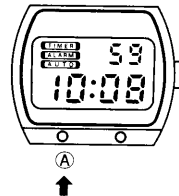


- 1 Push button "C" →
- 2 Pull out button "C" →
- 3 Depress button "A" to extinguish the set time digits and the ":-:" mark is displayed.
- 4 Push button "C" in to the normal position.

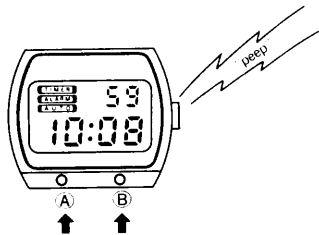
* The square frame of the released function is extinguished when the function is changed over to the "TIME" function after pushing button "C" in to the normal position.

■ HOW TO STOP THE ALARM

- The alarm starts sounding at the set time for each function and it is stopped automatically after 10 seconds. The square frame on the operating function is flashing while the alarm is sounding.
- Depress button "A" and the alarm is stopped before 10 seconds whichever function the watch may be operating.

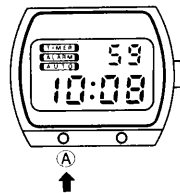


■ ALARM IS TESTED



Depress buttons "A" and "B" at the same time to check the alarm sound. The alarm sounds in each function while buttons "A" and "B" are depressed.

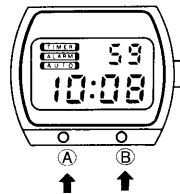
■ LIGHT IS LIT



Depress button "A".

■ ALARM VOLUME CONTROL

Both high-pitched and low-pitched sounds are available.



Depress buttons "A" and "B" twice at the same time within two seconds, and the high-pitched sound is changed into the low-pitched sound. Depress buttons "A" and "B" at the same time, and the high-pitched sound is available again.

■ THE CARE OF YOUR WATCH

×



This watch case is not water-resistant.
Please refrain from taking your watch in the water with you.

×



×



ANTI-MAGNETIC AND ANTI-SHOCK

○



There will be no trouble when
you play sports while wearing
your watch. But, do not drop
or hit the watch against hard
objects.

○



Your watch will not be affected
by the magnetism.

VARIATION OF TEMPERATURE

×



- (a) Keep the watch from direct sunlight and heat.
- 1) Battery life may be shortened.
 - 2) Digital display may become dim, but will recover without any after effect when the temperature drops to normal.

59

×



- (b) Do not leave the watch in a cold place for a long time.
- 1) Changeover of digital display may become dull. (Time accuracy is not affected.)
 - 2) There will be a little gain or loss but will soon recover when wearing.



Battery life is about one year.

※ Although the battery life is about one year but the first battery will run out within one year as it is inserted at the factory.



When the whole display starts flashing, please replace the battery within a week.

※ Even though the display is flashing, the time accuracy is not affected.

60



Please contact a SEIKO DEALER for replacement.

※ We reserve the right to relinquish all responsibility for repairs if the battery is replaced other than SEIKO DEALER.

■ REPLACEMENT OF THE LIQUID CRYSTAL PANEL

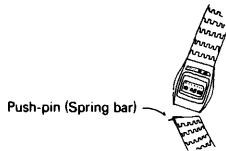
There will be dim contrast of digital display or blur or the digital display after the liquid crystal panel is used for some five years. In such case contact a SEIKO dealer for replacement. The replacement service is available at the owner's expense.

■ THE CARE OF YOUR WATCH

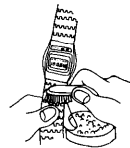


Replace the gasket please.

Replace the parts shown above once every year or two. Specify "SEIKO GENUINE PARTS" when replacing the parts.



A metal bracelet will become dirty with sweat and dust. When it becomes dirty with sweat, wipe off sweat with a cloth.



Wash it with soapy water by using a soft tooth brush from time to time, but be careful not to let soapy water seep into the watch.

■ SPECIFICATIONS

1. Crystal oscillator 32,768Hz. (Hz. =Hertz...cycle per second)
2. Loss/gain Loss/gain at normal temperature range.
Mean monthly rate: less than 10 seconds.
3. Display system..... Time function: 24-hour digital display system showing hour, minute, second, date (date mark) and function mark (Changeover to and from date and second). Month digits and month mark are displayed only when the digits in the time functions are adjusted.
Alarm function: 24-hour digital display system showing hour, minute and function mark.
Auto function: 24-hour digital display system showing hour, minute and function mark.
4. Display medium Single crystal Display (Nematic Liquid Crystal, FEM (Field Effect Model).
5. Battery SEIKO genuine silver oxide battery (SB-BU). Battery life is about one year. (If the light is used five times each day for one second at a time)
6. Battery life indicator ... The entire display begins flashing when the battery life nears its end.
7. IC (Integrated Circuit)... C-MOS-LSI...1 piece
8. Illumination light

SPECIFICATIONS are subject to change.

ご不明の点は下記の“セイコーお客様サービス係”
へお問い合わせください。

株 服 部 時 計 店 内

“セイコーお客様サービス係”所在地

(札幌)	〒060 札幌市中央区北二条西3丁目	011(251)2206
(仙台)	〒980 仙台市中央2丁目7番28号	0222(25)7421
(東京)	〒104 東京都中央区銀座4丁目3番1号	03(535)2211
(名古屋)	〒460 名古屋市中区錦1丁目3番10号	052(231)7571
(大阪)	〒541 大阪市東区博労町4丁目21番1号	06(244)6871
(広島)	〒730 広島市三川町7番1号	0822(47)7291
(福岡)	〒810 福岡市中央区天神3丁目4番5号	092(771)4131